

資料室



[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働組合の組織運営と機能](#)

[労働組合](#)

[労働者福祉・共済](#)

[一般教養](#)

[組織活動](#)

[組織運営と法律](#)

[労働安全衛生](#)

[経営対策活動](#)

[教育・宣伝活動](#)

[労働時間をめぐる諸問題](#)

[教育活動](#)

[選挙活動](#)

[組合組織（公務員）](#)

[教育カリキュラム](#)

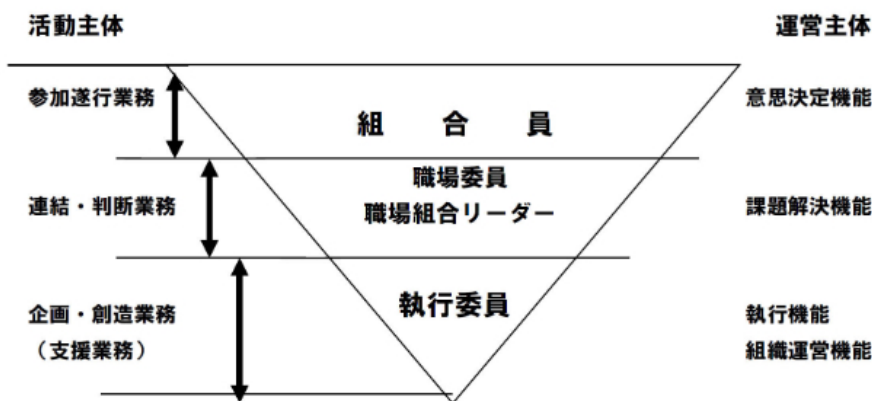
労働組合の組織運営と機能

労働組合の組織運営と機能

労働組合の運営は「組合員→職場役員→執行委員」という段階、階層を経て、全員で取り組むという運動体としての運営システムを取っています。

組織運営の種類、活動の機能を図解すると、次のようになります。

組織運営の種類と活動の機能



▶ [キーワード検索はこちら](#)

組合リーダーの役割

大きい組織は、支部制を取り握る職場を「支部長・副支部長・書記長・執行委員・職場委員」等の組合リーダーに分担し、組合を運営、活動する体制をとっています。したがって、このような職場を運営する組合リーダーは「職場の要」「組織の要」としての任務を持っています。言い方を変えれば、組合民主主義の実践者であり、その拡充・発展を担う重要な立場にあるということです。

1. 組織(組合)の本部・支部と組合員(職場)を繋ぐパイプ役としての役割。
2. 職場の組合員の生の声を集約し、組織課題まで高める課題の明確化としての役割。
3. 相談・苦情の世話役としての役割。
4. 組織(職場)活性化のリーダーとしての役割。
5. 職場レベルでの経営対策・管理者との窓口としての仕事・安全衛生問題中心とする折衝及び提言役としての役割。
6. 職場の組合運営の核として組合リーダー(執行委員、支部長等…)に付託された任務、役割等。

勿論、これらの業務や活動を推進していくには、リーダー自身の専門的な基礎知識や業務遂行能力、問題解決能力などが問われることは言うまでもありません。

▶ [サイトマップ](#) • ▶ [このサイトについて](#) • ▶ [個人情報保護の取組みについて](#)

• [TOP page](#) •

[資料室](#) •

[イベント情報](#) •

[講師を探す](#)

• [関連リンク](#)

